



五中だより



第16号
令和3年3月8日
調布市立第五中学校
校長 生田目 将

『生徒第一主義』と『良好な学習集団づくり』を目指して ～学校評価及び年度末反省を受けて～

校長 生田目 将

本年度も残すところ十数日の授業日となり、生徒・保護者の皆様・地域の皆様には様々な感染症対策にご協力いただき本校教育活動を無事に果たすことができます。感謝申し上げます。最後の1か月を各学年それぞれが充実した時間を過ごし、卒業式及び修了式で生徒一人一人のキラキラした笑顔が見られるよう努めて参ります。

さて、教育活動アンケート（生徒・保護者）と生徒授業評価の結果をHPにてお知らせします。ご閲覧ください（<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/keiei/2021-0304-1547-58.html>）。その結果と生徒・保護者の皆様の自由記述のご意見と学校関係者評価委員の皆様から頂いたご意見を参考に次年度教育課程を校内で検討してまいりましたので、下記にその方向性をお示しいたします。

【アンケートより】

☆教育活動

・「学校へ通うことが楽しい」「意欲的に授業へ取り組む」「決まりを守る」「部活動は充実している」「相談できる友達はいる」「配布物を届けている」「国際理解教育の充実」「キャリア教育の充実」「学校教育は楽しい」「先生の生徒理解」「いじめ・暴力のない集団作り」「命の大切さ社会のルールを学ぶ場」「教育環境整備」「学校からの情報発信」「五中生でよかった」の15項目（22項目中）で、85%以上の肯定的評価（そう思う+ややそう思う）を受けています。「国際理解教育の充実」「キャリア教育の充実」については、保護者のみ70%程度となったことについては、今後は学校から保護者への情報発信の仕方の工夫が必要と考えます。今年度、本校は東京都の方針の「キャリアパスポート」を独自に作成し、3年間見通したキャリア教育へ取り組み出しました。次年度以降は内容の充実と保護者の皆様との共有をさらに進めます。

・「図書館の利用」については、肯定的意見が生徒の20%程度でした。アンケート構成上、質問の趣旨と仕方が他の項目と齟齬があったことが原因の一つと考えます。図書室が学校教育全体で、どの様に活用されているのかが検証の目的でしたが、個々の利用や訪問についてのみの返答となってしまった結果ととらえます。また、この項目だけに「よく」という副詞がついています。個々の利用・訪問数の向上は今後の課題ですが、図書室のデータからは貸出冊数等は昨年度比で十数パーセント伸びていることがわかります。司書教諭・図書館司書・図書委員会の取り組みが好影響していると考えます。図書室の役割として、各教科や総合的な学習の時間においての「学習センター」及び「情報センター」の機能の向上は組織的に図られてきています。

・「自主的な家庭学習」「学力は向上しているか」の2項目の肯定的評価が3学年を除き、60%程度となっていることが今年度のアンケートの特徴です。学習面においては、授業評価での肯定面を含め後述し、次年度の方向性を示します。

・記述のご意見の「部活動の種類の充実」「特別支援教育の充実」「指導等について」などに対しましては、次年度の学校組織（生徒数、学級数、教員数、学校予算、感染症対策、人事異動など）を鑑み、管理職として整理・精査し、学校としての果たせる範囲の中で、全体で取り組むことと個々の教師が資質向上していくことを整理し、改善を目指します。

☆授業評価

○アンケートは従来の方式から変更し、本年度は授業改善に向けて、生徒による授業への意見を聞き取る形としました。集計データ及び記述のコメントは学校全体・分掌や学年組織・各教員で情報共有し、検討・改善して参ります。

- ・教科ごとの多少の差はあるが、「授業が参加しやすく分かりやすい」の項目は肯定的評価がほぼ90%を超える結果です。100%を示す教科も複数ありました。教員にとっても今後の授業づくりの励みとなります。
- ・全教科で取り組んだ「本時のめあての共有」「授業終末の振り返り」については、授業中の実施率やその効果を生徒からも高評価されました。
- ・黒板の書き方や教具の工夫については、各教科や各教員にバラつきはあるものの、生徒は授業や教科内容の分かりやすさに視覚的な教材や資料を欲していることが伝わってくるので、今後のChromebook等のICT機器の活用が有効であると考えます。
- ・「主体性を重んじ、発言・話し合い活動・制作作業・運動時間の確保」について、教科ごとや教員ごとのバラつきが生じている意見を受けました。次年度の新学習指導要領完全実施に向け、コロナ禍においても、「主体的対話的な深い学び」の実現のため、上記同様にICT機器の有効活用と合わせて、各教科の特性や発達段階に応じた工夫を試行錯誤していくことが、新年度の学校としての最重要課題と捉えます。

【学校関係者評価委員様より】

1 豊かな心の育成

- ・豊かな人間性を育むことができ、自己肯定感も高い。
- ・委員会活動などに新たな取り組みや工夫がみられる。
- ・生徒それぞれの多様性についての取り組みが評価できる。
- ・アンケートより教員と生徒の信頼関係の高さが見てとれる。一方、少数であっても否定的な回答として生徒を見逃さないようにしてほしい。

2 確かな学力の育成

- ・来年度、タブレット導入後の評価が楽しみ。
- ・教員間での差を埋める努力が必要。同教科での意見交換や研修を進めてほしい。
- ・今後、リモート授業等の取り組みを進めてほしい。
- ・教え方の工夫を継続して研修していってほしい。また、保護者を含めて家庭学習の定着を進めてほしい。

3 健やかな体の育成

- ・オリパラのお友達プロジェクトを更に進めてほしい。体験活動を通じて、人間性・思いやり・豊かな心を育む育成につなげてほしい。
- ・男子体育の授業評価が低いところがある。検証していく必要がある。

4 安全教育

- ・AEDのシミュレーション研修は重要。今後も継続してほしい。
- ・安全教育が進んでいるので、落ち着いた学校生活が送れているのだと思う。一方で、登下校中の様子が気になる。
- ・継続していってほしい。

5 キャリア教育

- ・キャリアパスポートをうまく使い、キャリア教育を進めてほしい。
- ・学校だけではなく家庭でもキャリア教育を進めるべき。キャリア教育を行うことで、生涯学ぶ姿勢や時を読む智脳の基を作ってほしい。

6 特別支援教育

- ・今後とも、一人一人のニーズを把握し、適切な支援を望みます。
- ・教職員の努力を感じる。

【次年度教育課程】

上記より、次年度は、生涯学び続け、社会や世界で活躍・貢献し、持続可能な未来を創造する子どもたちの育成！を目指し、

教育目標の最重点は「知・徳・体」のうちの、『知：自ら学ぶ人になろう』とします。

◎教育目標達成のため、『生徒第一主義』と『良好な学習集団づくり』を柱とします。

○「わかる・かかわる・できる授業」の実践

- ・めあてを見定めた授業の工夫や授業改善
- ・ICT 機器 (Chromebook 等) の有効活用
- ・学び合い、支え合い、協力し合える授業
- ・振り返りや自宅学習の充実 (宿題や Chromebook の活用等)

○生徒主体な自治活動の充実

○「キャリアパスポート」を使った3年間を見通したキャリア教育の充実

○すべての教育活動の中で、生徒の「絆づくり」と「居場所づくり」を目指します。

末筆ではございますが、平成2年度の第五中学校を支えてくださったすべての皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。 教職員一同

◇合唱コンクールについて◇

3月12日（金）学年ごとの開催とします。

1年生 9:00～10:30 2年生 10:40～12:30 3年生 13:30～15:00

※保護者・地域の方の鑑賞はご遠慮ください。

★第53回 卒業式★

3月19日（金） 9:30～10:30 (3年生の登校は8:30、保護者受付は8:45)

1, 2年生は10:30登校

※保護者は各家庭2名まで、ご来賓の方々はご遠慮ください。

活躍する五中生！

★卓球部 女子団体★

関東選抜大会に東京都の代表決定！

3月21日・22日 栃木県にて

SDGs・GIGAスクール構想を鑑みペーパレス化や校務改善等の観点から、本校の学校だよりは本号よりデジタル配信のみといたします。下記ホームページURLより閲覧ください。

★★3月の生徒指導の重点★★

「1年間を振り返り、新年度に引き継ぐ。

学校全体で感動的な卒業式をつくりあげる。」

1 1年間の学習や生活のまとめをしっかり行い、進級・卒業の準備をする。

2 卒業式を成功させ「母校愛」と「帰属意識」を養う。

3 新年度の「目標」を立てる。



〈学校住所・電話番号〉

〒182-0035 調布市上石原3丁目27番地1

電話 042(484)1311

ホームページURL

<https://www.chofu-schools.jp/chofu5/index.html#>

